

使用済燃料対策推進に関する理解活動

使用済燃料対策や高レベル放射性廃棄物の最終処分などバックエンドの現状や取組を含めたエネルギー政策の動向等をテーマとし、産官学がそれぞれの立場で情報発信やパネルディスカッションを行うなど、これらに対する理解がより深まるよう、シンポジウム・講演会等の機会を活用して理解促進活動を実施。



例) 平成29年6月23日(金) ※右写真は開催の様子
今、改めて考えるエネルギーミックスと原子燃料サイクル
「使用済燃料対策から考える、原子力燃料サイクル」というテーマでのパネルディスカッション等を実施



日本原子力発電(株)
東海第二発電所での乾式貯蔵



リサイクル燃料貯蔵(株)
使用済燃料中間貯蔵施設

中間貯蔵に関する勉強会・視察見学会の開催

- 立地道県に交付している広報・調査等交付金事業の一環として、日本原子力発電東海第二発電所の使用済燃料乾式貯蔵設備などの視察見学会を実施。
- 各立地地域の民間ステークホルダーなどを対象として、国の原子力政策や各種情報の提供等を行う勉強会、むつ中間貯蔵施設などの視察見学等を開催。

中間貯蔵分野における日米共同研究の検討

両国は使用済燃料の長期貯蔵など共通の課題を有しており、専門家が協力して技術的議論を重ねることにより、方策や改善策を見つけたことが目的。共同研究の可能性のある分野として、中間貯蔵の技術開発を検討中。